

宇都宮市立今泉小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
目標(めあて・ねらい)の共有化と振り返る時間の確保	児童が意欲をもって授業に取り組めるような学習課題を設定していく。また、児童が課題を受け止め、見通しをもって学習に取り組み、授業の終わりには自らの学びを振り返る時間を確保できるようにする。	児童の「授業の理解度」を問う設問では、4学年中3つの学年の肯定的回答が市の平均を上回った。「勉強への好意度」や「学習への主体性」を問う設問では、4学年中2つの学年の肯定的回答が市の平均を上回った。
コミュニケーション能力の向上を目指した授業の工夫	授業の中で多様な形態で、自分の考えと友だちの考えとを比較し、対話できるような場面を設定していく。また、対話を通して学び合い、自分の思いや考えを表現できるような児童を育成していく。	児童の「主体的な対話への参加」「多面的多角的な思考」を問う設問では、4学年中1つの学年で肯定的回答が、市の平均を上回った。また、「他者の話を聞くこと」「根拠のある考えの提示」を問う設問では、4学年中2つの学年の肯定的回答が、市の平均を上回った。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

全国学力・学習状況調査の結果から、児童が学びを実感し学ぶことの大切さを意識できるために、児童が主体的に学ぶ授業づくりが課題となっている。

とちぎっ子学習状況調査の結果から、新型コロナウイルス感染症対策による学習活動の制限が原因と考えられる数値の低さが見られたことから、コロナウイルス感染症対策を十分に行った上での、主体的・対話的で深い学びの授業改善が課題となっている。

学習定着度調査の結果も併せて考えられる次年度の方向性は、「学習の見通しをもつためあてを立てて、めあての達成に向けて対話的に学び、本時の学びを各自が振り返ることで、次時への学習の見通しをもち、主体的な学びを持続できる」ような授業の展開を目指したい。校内研修の取組みとつなげて、今泉モデルの構築・実践を行う。